

令和 7 年 12 月 5 日（金）
市役所 2 階 201・202 会議室

下水道使用料改定説明会質疑応答記録

Q 1. 老朽化対策工事は具体的にどこを整備していくのか。

A 1. 建設時期の古い左岸の主に羽黒・楽田地区において陶管が多く使用されており、劣化が進んでいるため、これが不明水の原因の一つと考えています。令和 9 年度に市内の新規整備が概ね完了するため、令和 10 年度以降はこういった箇所を中心に老朽化対策を積極的に進めていきます。

Q 2. 埼玉県八潮市で起きたあのような陥没事故が犬山市で起こる可能性はないのか。

A 2. 犬山市内には約 280 k m の下水道管があり、毎年約 10 k m の T V カメラ調査や、マンホール内からの調査を実施しています。これらの調査においては、これまで陥没に至る可能性があるような異常は発見されていません。

また、八潮市で陥没した下水道管は口径が訳 5 m と大きく、犬山市においては最大の口径が 1.65 m のため、同様の規模の陥没が起きる可能性は低いと考えています。